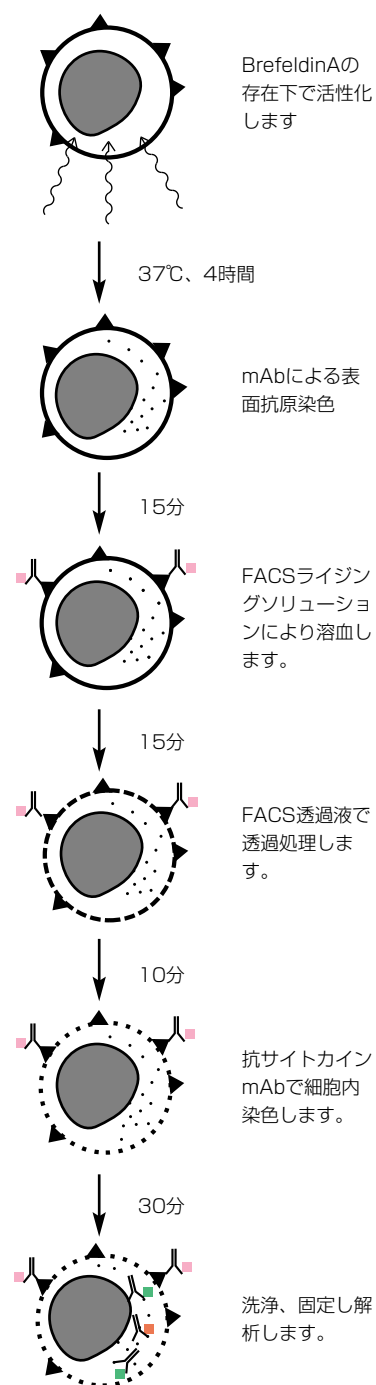


## FastImmuneシステムを用いた細胞内サイトカインの染色法

BDは活性化リンパ球や活性化単球の細胞内サイトカインを検出する方法を開発しました。この方法にBDの抗サイトカインモノクローナル抗体を利用することで、最適な結果が得られます。

FastImmuneサイトカインアッセイでは、まず全血または末梢血単核球（PBMC）を活性化します。活性化の後半4時間にBrefeldinA（BFA）を加えて、細胞内輸送を阻害します。阻害することで、活性化中に産生された抗原とサイトカインを細胞内に保ちます。細胞をヒト細胞表面マーカーに対する蛍光色素標識モノクローナル抗体で染色します。溶血し細胞膜を透過性にし、サイトカインに対する蛍光色素標識モノクローナル抗体で染色します。サンプルを洗浄し、フローサイトメーターで解析します。

詳しくは、当社の免疫機能アプリケーションノート：Detection of Intracellular Cytokines in Activated Lymphocytes and Detecting Intracellular Cytokines in Activated Monocyte'sをご覧ください。アプリケーションノートは当社Websiteまたは日本BDから入手できます。



FastImmuneシステムを用いた細胞内サイトカイン検出